

研修責任者等研修事業 都道府県名（ 鹿児島県 ）
（実地指導者研修）

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 （ 1 ）箇所
2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

・県内の看護職員に広く周知されている場所で、演習が可能な広さの会場を選定した。

3. 研修開催回数 延べ（ 2 ）回

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)
（開催回別に記入してください）

開催回	応募者数	受講者数
第1回	（202）名	（122）名
第2回	（165）名	（123）名
第3回	（ ）名	（ ）名

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	（361）名	（242）名
診療所	（ 6 ）名	（ 3 ）名
助産所	（ ）名	（ ）名
介護老人保健施設	（ ）名	（ ）名
指定訪問看護事業所	（ ）名	（ ）名
その他 （ ）	（ ）名	（ ）名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	(37)
100～200未満	(85)
200～400未満	(93)
400床以上	(27)

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	(0)名
看護副部長	(1)名
師長	(4)名
副師長	(17)名
主任	(31)名
副主任	(6)名
スタッフ	(185)名
その他	(1)名

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

① 実地指導者(新人職員に対して臨床実践に関する実地指導、評価などを行う者)とし、新人看護職員卒後研修責任者研修受講者は除外。できるだけ直接新人指導を行っているスタッフを優先した。
② 責任者研修の申し込み者で、選考にて受講不可となった者は職位に関係なく優先的に受講可とした。
③ 施設類型による基準は設けていない。
④ 申込が定員より大幅に上回ったため、申込施設の新人職員の有無に応じて受講人数を調整した。新人がいない施設は1名、新人がいる施設は新人の数と同数の実地指導者の受講とした。

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

① 県内病院へ開催案内を発送
② 看護協会のホームページに情報を掲載した。
③ 県医師会、市郡医師会、公的病院等看護部長会へ研修案内及び研修開催の周知をお願いした。

その他の職種： 職種等(公的教育研究機関 主任研究員) (1)名
職種等() ()名
職種等() ()名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

(3)日 (18)時間

5. 4. の内訳 講義 (11.5)時間 演習 (6)時間

その他(開講式・閉講式) (0.4)時間 オリエンテーション (0.1)時間

IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

・研修内容の企画等については、現職の看護部長等からなるプロジェクトチームにより検討した。
・実地指導者としての役割について、演習を取り入れ、受講者自身が振り返れるようにした。
・現場において新人職員との関わりに繋げる事ができるようより具体的な研修内容となるよう工夫した。
・現場での実践意識の継続を図るため、終了後3か月時点でアンケート調査を実施した。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

(アンケートによる評価について)
・研修評価について受講直前・受講直後、受講3ヶ月後の3回、実地指導者としての課題とその達成度についてアンケートを行った。
・アンケートは研修を企画するプロジェクトチームで作成した。
・アンケート内容は、ガイドラインの「実地指導者に求められる能力」にメンタルヘルスに関する項目を追加して作成した。
・2回のアンケート結果からは新人看護職員卒後研修ガイドラインを知り、実地指導者としての役割を明確化できたことが伺えた。
・現在3回目のアンケート回収を行っており、評価途中である。
(その他)
・今年度の実地指導者を対象とした研修内容であったが、研修の開催時期からも、来年度実地指導者となる予定の者に対しての研修をしてほしいと希望する声があった。

V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託 A 委託していない B 委託している 委託先(鹿児島県看護協会)